

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年10月2日(2014.10.2)

【公開番号】特開2014-147520(P2014-147520A)

【公開日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2014-044

【出願番号】特願2013-17813(P2013-17813)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月1日(2014.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の始動条件の成立を契機として判定を行う判定手段と、その判定手段による判定結果に基づいて表示手段に識別情報の動的表示を実行させる動的表示実行手段とを備え、動的表示実行手段により実行される前記識別情報の動的表示において所定の識別情報が現出された場合に、遊技者に所定の遊技価値を付与する遊技機において、

前記表示手段の前面を覆う第 1 位置と、前記表示手段の前面から外れた第 2 位置との間を移動可能な可動役物と、

その可動役物を前記第 1 位置と第 2 位置との間で移動させる駆動手段と、を備え、

前記可動役物は、

前記表示手段に表示された画像を眼鏡なしでも視認可能な 3 次元画像に変換する変換手段を有し、

前記遊技機は、

前記表示手段に 3 次元画像を表示させるか否かを決定する決定手段と、

その決定手段により 3 次元画像を表示させることが決定された場合に、前記駆動手段により前記可動役物を前記第 1 位置へと移動させ、前記決定手段により 3 次元画像を表示させないことが決定された場合に、前記駆動手段により前記可動役物を前記第 2 位置へと移動させる駆動制御手段と、

前記駆動手段により前記可動役物が前記第 1 位置へ移動させられた場合に、前記変換手段によって前面が覆われた前記表示手段の領域内に、前記 3 次元画像を表示させるための画像を表示させ、前記駆動手段により前記可動役物が前記第 2 位置へ移動させられた場合に、前記表示手段に 2 次元画像を表示させる表示制御手段を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記表示制御手段は、前記駆動手段により前記可動役物が前記第 1 位置へ移動させられた場合に、前記変換手段によって前面が覆われていない前記表示手段の領域に、前記 2 次元画像を表示させることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】